

定期報告(ウルグアイ政務・経済:2022年7月)

【ポイント】

内政

●7日、裁判において13歳未満へのワクチン接種停止が命じられたが、当国政府はこの判決に対し控訴、裁判所は当初の判決を取り消した。

外交

●1日、ラカジェ・ポウ大統領は、ブスティージョ外相とともにコロンビアを訪問、犯罪人引渡し条約等に署名を行った。

●5日、当国海軍は、ウルグアイの排他的経済水域で違法漁業をしていた中国漁船「Lu Rong YuanYu 606」を拿捕。

●アルヒモン副大統領は、列国議会同盟(IPU)ミッションの一員としてウクライナ及びロシアを訪問。。

●14日、ガルシア国防大臣は、韓国から供与される巡視船を導入する旨、及び韓国との防衛協力枠組み協定の締結に向けて取り組んでいく旨発言。

●21日、ラカジェ・ポウ大統領は、第60回メルコスール首脳会議に出席。域外国との二国間協定を進める意向を表明。

●26日、ラカジェ・ポウ大統領はゼレンスキー・ウクライナ大統領と電話会談を実施。

経済

●オランダ企業 Damen 社は、ウルグアイ海軍の巡視船入札で不正があったとしてウルグアイ国防省に申立てを行った。

●13日、ラカジェ・ポウ大統領は、中国との FTA にかかる F/S の終了及び近日中に FTA 交渉を開始する旨発表。

●25日、デルガド大統領府長官、アルベレチェ経済財務大臣及びブスティージョ外相は、中国ミッションとの FTA 交渉に関する会議を実施。

●26日、ラカジェ・ポウ大統領は、「輸出の日」の記念行事に出席し、中国との FTA 交渉開始や他の地域貿易圏、特に CPTPP との間で協定を締結する可能性にかかる対話について言及。

1 内政

(1)13歳未満への新型コロナウイルスワクチン接種停止問題

7日、裁判においてウルグアイにおける13歳未満に対するワクチン接種の停止が命じられたが、ウルグアイ政府はこの判決に対し控訴。その後、裁判所は当初の判決を取り消したため、13歳未満の同ワクチン接種が再開された。

(2) 安楽死の合法化にかかる動き

コロラド党(連立与党)及び野党拡大戦線(FA)の議員は、当国での安楽死の合法化に関する法案提出に取り組んでいる。一方で与党国民党及びカビルド・アビエルト党(連立与党)は安楽死の合法化に反対している。下院での来年度補正予算に関する審議が終わる9月から10月にかけて同法案の審議が行われる見込み。

2 外交

(1) ラカジェ・ポウ大統領のコロンビア訪問

1日、ラカジェ・ポウ大統領は、ブスティージョ外相とともにコロンビアを訪問、ドゥケ・コロンビア大統領と会談を行った。同会談後、ラカジェ・ポウ大統領は、両国の強固で戦略的な関係を強調。また、ブスティージョ外相及びラミレス・コロンビア副大統領兼外相は、二国間の法的協力拡大のため、犯罪人引渡し条約等に署名を行った。

(2) 中国違法漁船の拿捕

1日、艦隊司令部の戦術作戦センターを通じて、ウルグアイの排他的経済水域で違法操業を行っていると思われる船舶が複数探知されたため、海軍航空機 B-200 機による偵察飛行を行ったところ、プンタ・デル・エステの南東150海里でイカ釣り漁船2隻が発見された。5日、当国海軍は、ウルグアイの排他的経済水域で違法漁業をしていた中国漁船「Lu Rong YuanYu 606」を拿捕。当該漁船はモンテビデオ港に移送されており、海軍によると、拘留者は所轄官庁に引き渡された。

(3) アルヒモン副大統領のウクライナ及びロシア訪問

7日、ウクライナとロシアの和平調停を模索する列国議会同盟(IPU)ミッションに参加したアルヒモン副大統領は、ウクライナ及びロシア訪問に向け当国を出発。同副大統領はアフリカに立ち寄った後、IPU ミッションのメンバーとともにポーランド、ウクライナ及びモスクワを訪問した。IPU ミッションの目的はウクライナとロシアの国会議員間の対話を促し、規範に基づく制度的秩序の枠組みの中で、実現可能な平和的解決を支援することである。

(4) 韓国からの巡視船供与及び防衛協力枠組み協定の締結への動き

14日、ガルシア国防大臣は、韓国から供与される巡視船を導入する旨発表。また同大臣は、韓国との防衛協力枠組み協定の締結に向けて取り組んでいくと発言。

(5) ブスティージョ外相のメルコスール共同市場審議会通常会合出席

20日、ブスティージョ外相は、メルコスール首脳会合に先立ち開催されたメルコスール共同市場審議会(CMC)通常会合に出席。同外相は、域外国との関係に関し、メルコスール近代化の必要性等について主張した。

(6) 第60回メルコスール首脳会議の開催

21日、ラカジェ・ポウ大統領は、ブスティージョ外相、アルベレチェ経済財務大臣及びフェレス大統領府副長官とともにパラグアイで開催された第60回メルコスール首脳会議に出席。ラカジェ・ポウ大統領は、演説の中で、ウルグアイは他国との二国間協定を進める方針であり、これはメルコスールの条約に反するものではないと強調した。パラグアイはラカジェ・ポウ大統領に対し、メルコ

スール議長国の木槌を授与し、ウルグアイが今期議長国となった。

(7) ゼレンスキー大統領との首脳電話会談

26日、ラカジェ・ポウ大統領はゼレンスキー・ウクライナ大統領と電話会談を行った。ラカジェ・ポウ大統領は、ウクライナ侵攻に対するロシアへのウルグアイの非難の姿勢を確認し、国家間紛争の平和的解決を擁護する外交政策の本質的原則を強調。ゼレンスキー大統領は、武力紛争に対するウルグアイの姿勢に感謝の意を表した。

(8) 中国からの医療機器供与

27日、中国から国家保健サービス機構(ASSE)及び国家緊急システム(SINAE)に対する医療機器の供与が行われた。本供与は大統領府国際協力庁(AUCI)を通じて中国が提供する「新型コロナウイルス衛生危機支援基金」の枠組みで行われたものであり、本供与の総額は、約74万6,000ドル。供与品には、人工呼吸器30台、デジタル心電図50台、カラーエコー装置15台、マスク10万個、ニトリル手袋40万個及び組み立て式テント15個等が含まれている。

3 経済

(1) 巡視船入札にかかる国防省への申立て

オランダ企業 Damen 社は、ウルグアイ海軍の巡視船入札で不正があったとしてウルグアイ国防省に申立てを行った。ガルシア国防大臣に提出された技術報告書には、中国のみが入札要件をすべて満たしていると記載されており、入札したオランダ企業 Damen 社及びフランス企業 Kership 社の提案は却下された。Damen 社は、入札プロセスの不正を指摘し入札額の再評価を行い、中国船舶工業貿易有限公司(CSTC)を失格とし、入札参加企業のプロポーザルを公開することを求めている。

(2) 中国との二国間 FTA 交渉の開始

13日、ラカジェ・ポウ大統領は記者会見において、2021年9月に開始された中国との FTA にかかる F/S の終了を発表、近日中に中国との FTA 交渉を開始すると述べた。同大統領は、中国との FTA はウルグアイ単独ではなく、メルコスールと連携して進める考えを示し、「我々(ウルグアイ)は立ち止まるつもりはない。」と述べている。

(3) 中国ミッションのウルグアイ訪問

25日、デルガド大統領府長官、アルベレチェ経済財務大臣及びブスティージョ外相は、ウルグアイを訪問中の中国ミッションを迎え入れ、会議を行った。ブスティージョ外相は、「中国との FTA 交渉を前進させ、締結するためのタイムテーブルの具体化に着手した。」と発表。また、同外相は本 FTA 交渉が2025年前に終了する可能性がある旨述べた。

(4) 「輸出の日」記念行事におけるラカジェ・ポウ大統領の演説

26日、ラカジェ・ポウ大統領は、ウルグアイ輸出業者組合主催の「競争力のある持続可能なウルグアイ」と題した「輸出の日」記念行事に出席。中国との FTA 交渉開始や他の地域貿易圏、特に CPTPP との間で協定を締結する可能性にかかる対話について強調した。

4 要人往来

(1) 往訪

- ・1日:ラカジェ・ポウ大統領及びブスティージョ外相のコロンビア訪問(ドゥケ・コロンビア大統領との会談及び犯罪人引渡し条約等への署名。)
- ・6日～8日:ビエラ観光大臣のブラジル訪問(ブラジル観光省、港湾当局及び観光企業関係者会議出席。)
- ・7日:ヘベル内務大臣のパラグアイ訪問(ゴンサレス・パラグアイ内相との会談。)
- ・10日～16日:アルヒモン副大統領のウクライナ及びロシア訪問(IPU ミッション)。
- ・16日～21日:ダ・シルベイラ教育文化大臣のスペイン訪問(「21世紀教育:デジタル時代の繁栄・競争・革新」イニシアティブ枠組みの大臣対談出席。)
- ・19日～21日:ブスティージョ外相のパラグアイ訪問(メルコスール共同市場審議会通常会合出席。)
- ・19日～28日:ビエラ観光大臣の英国訪問(ポロ・コロネーションカップ2022及び在英国ウルグアイ大使館会議出席。)
- ・21日:ラカジェ・ポウ大統領、ブスティージョ外相、アルベレチェ経済財務大臣及びフェレス大統領府副長官のパラグアイ訪問(メルコスール首脳会議出席。)
- ・24日～26日:マツス農牧水産大臣のブラジル訪問(グローバル・アグリビジネス・フォーラム2022出席。)
- ・25日～29日:ガルシア国防大臣のブラジル訪問(第15回米州国防大臣会議出席。)

(2) 来訪

特記事項なし。